

STOP!! ハラスメント

令和5年2月



ハラスメント副相談室長からのメッセージ

いま思い起こすと、私がハラスメントを感じたのは入試の面接で「女の子なのに、家庭に入らずに仕事するの?」と聞かれたことでした。その時は、面接なのでなんとか礼儀正しく、と冷静さを保とうとしましたが、心のなかでは煮えくり返っていました。ハラスメントを受けた人の気持ちは、受けた人でないと本当にはわからないでしょう。ですが、想像することはできるはず・・・のはずですが、私の専門である神経発達症の方には難しい場合もあります。実際に事例をみても、相手の気持ちの理解ができていないことからハラスメントに至っていると思いきケースも散見されます。外来で診察している患者さんたちも、人の気持ちを想像し、ハラスメントをしないように指導しなければ、と思うと同時に、子供だけでなく、社会人に対しても教育が非常に大事であることを痛感します。ハラスメントに対する知識が常識となり、ハラスメントがなくなる日が早く来ることを祈ります。

大阪大学は、ハラスメントを
「見逃しません」「許しません」「厳正に対処します」。
みなさん一人一人のご協力をお願いします。



ハラスメント副相談室長 毛利 育子

ハラスメント相談室（秘密厳守）

豊中地区 06-6850-5029、06-6850-6505

吹田地区 06-6879-6981、06-6879-6982

箕面地区 072-730-5112

相談希望の方はまずはお電話をください。

大阪大学ウェブサイト https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/life/prevention_sh

